

自然に恵まれ人の 優しさを感じる登別

伍さんは、中国の広東省広州市
旅游局（観光局）の職員で、局の
育成部門（日本の観光専門学校に
あたる）で日本語や英語、海外の
伝統文化などを学生に教えていま
す。

「研修で日本に行かないかと上
司から言われたときには、2歳の
息子がいるので悩みましたが、自
分の人生にとってはプラスになる
ことや家族のすすめもあって登別
に来ました。国際交流に貢献する
ことや日本の伝統文化を学び、体
験すること、そして人とのふれあ
いが楽しめでした」と来日前の気
持ちを話す伍さん。

「研修でいろいろな人と接し、
日本に来る前に抱いていた日本人
のイメージが変わりました。中国
語では『民風』と言いますが、日
本人は心の温かい親切な人が多い
ですね。日本に来て、多くの地方
に行く機会がありました。登別
の人は特に『民風』がすばらしい
と思いました。また、広州にも温
泉がありますが、11種類もの温泉
が湧出しているのは驚き。海や山
などの自然に恵まれているのもす
ばらしいですね」と登別に来て約
3カ月が過ぎたの印象を話して
くれました。



▲市内テーマパークで実務研修する伍さん

広域的な観光客誘致に 力を注いでほしい

「ホテルやテーマパークなどで
は、英語を話せる人がもつと多い
といえますね。海外からの問い合
わせや応対で、きめ細かなサービ
スができるようになると、観光客
の増加につながるのではないでし
ょうか」とホテルやテーマパー
クでの実務研修の感想を話す伍さ
ん。

「中国から北海道への直行便も
少ないので広域的な誘致活動に力
を注いでほしいです」と観光業へ
のアドバイスもありました。

伍さんの研修は11月23日(火)まで。
帰国後は登別市のPRや、日本の
伝統文化などを学生たちに伝えて
いくことを期待します。



KIRARI

ウー イーミン
伍 毅敏さん

市は、国際交流事業の一環として、総務省
などが行う自治体職員協力交流事業の協力交
流研修員を受け入れています。

協力交流研修員として、登別市の観光行政
や日本の伝統文化を学ぶため、中華人民共和
国の広東省広州市から5月24日に来日、6月
24日から登別市での研修を始めた、伍毅敏さ
んに登別市の印象などを聞きました。

日本の文化や人との ふれあいを大切にし たい



1977年1月 広東省湛江市生まれ 27歳
華南師範大学外国語学院日本語（外事）科卒業、98年から広東省広州市旅游局
（観光局）に勤める。国際日本語能力試験1級、中国全国英語等級試験6級
（CET6）、中国全国日本語ガイド人員資格を取得し日本語、英語とも堪能。
夫と2歳の息子と広州市に居住。